

コインランドリー業界全国2位

マンマチャオが戦略語る

3月は16店舗オープン

全国でコインランドリーFC13店舗を展開する(株)マンマチャオ(本社横浜市都筑区、三原淳



三原社長が説明

社長)はこのほど東京都港区新橋に東京本部を開設。4月20日、同本部にマスコミ各社を集め、三

原淳社長が「マンマチャオ成長を支える独自戦略と、未来」のテーマでプレゼンテーションを行った。

同社は2000年、米国のコインランドリー機器メーカー「テクスター社」の日本総代理店として創業。同年末「mamao」の日本総代理店として創業。同年末「mamao」の日本総代理店として創業。

原淳社長が「マンマチャオ成長を支える独自戦略と、未来」のテーマでプレゼンテーションを行った。

同社は2000年、米国のコインランドリー機器メーカー「テクスター社」の日本総代理店として創業。同年末「mamao」の日本総代理店として創業。

同社は2000年、米国のコインランドリー機器メーカー「テクスター社」の日本総代理店として創業。同年末「mamao」の日本総代理店として創業。

型サイスの洗濯機で、27キ口を19分で洗えるため家庭用の40分比べて速い。さらにガス乾燥機により30分で乾かすことができるため、約3日分の洗濯物を短時間で処理できる。共働きの世帯の「まとめ洗い需要」を掘り起こし、FC展開で次々と店舗をオープンさせていった。

マンマチャオのコインランドリー経営の特徴の一つが「遠隔運転、返金システム」。店舗の外でも洗濯機、乾燥機を自動運転でき、専用のカメラで画像確認ができること。このため状況に応じて遠隔操作で両替機から返金することもできる。

マンマチャオの店舗が代理で遠隔操作を24時間実施するため安心して店舗運営ができる。さらに売上管理システムでは、集金時に前回集金時からの累計金額がメールされる。このほか加盟店には専用のホームページが用意され、SEO対策済みのため、町名とコインランドリーを検索するとYahoo!とGoogleで上位にくるようになっていくという。

2020年に一千店舗へ親会社と上場目指す
現在同社の加盟店数は313店舗で全国2位、東日本では1位である。毎週3〜4店舗をオ

ープンさせており、3月実績では16店舗、今後毎月20店舗を目標に、2020年9月には1千店舗を達成し、マンマチャオの親会社にあたる(株)エムアイエスと持ち株を合わせて上場を目指すという。「女性の社会進出」「インバウンド・外国人労働者の増加」などを背景に、コインランドリー業界は毎年5%ずつ成長している。コインランドリー機器メーカー各社は受注に生産が追い付かず、注文しても待たされる状態が続いているようだが、同社は輸入機により「すぐ

クリーニング店との併設店舗も増えているとのことだった。

クリーニング店との併設店舗も増えているとのことだった。

クリーニング店との併設店舗も増えているとのことだった。

クリーニング店との併設店舗も増えているとのことだった。



クリーニング店との併設店舗も増えているとのことだった。